

取り扱い 説明書

98/12/25

HI-ACE タイダウンフック (クランプ径22mm) 2 個入り 品番 1990039

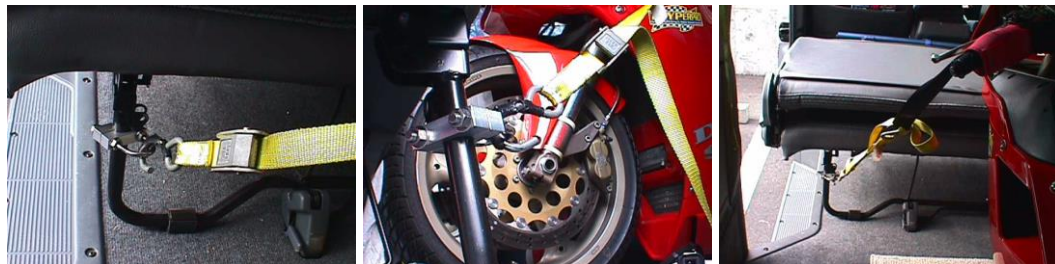
この度は、当社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。取り付け前にこの取り扱い 説明書を熟読して下さい。

！注意

1. 取り付け後必ずボルト、ナットの締め忘れが無いよう確認して下さい。取り付け後各部の干渉等の問題が無いことを確認して下さい。
2. 定期的に各部の異常がないか確認して下さい。

取り付け手順

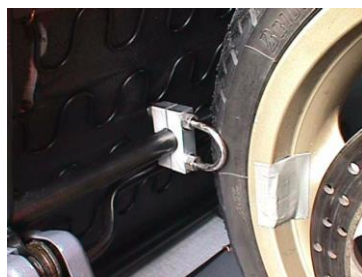
セカンドシートを出したまま車両を積み場合、取り付け位置に自由度が有りタイダウンを確実にかけることができます。クランプ部をセカンドシートの後脚部取付の様に取付けます。ナットを締め確実に固定します。



カウル装着車の場合でもアンダーブラケットからカウルに干渉せずタイダウンを引くことができます。



セカンドシートを折り畳み車両を積み場合タイダウンフックを 2 個使いタイヤストッパーとして使用できます。前輪を確実にパイプに固定できます。



付属部品	個数
クランプボディー	2
U ボルト	2
M8 ナット	8
M8 ワッシャー	8

製品については品質管理を行っていますが、万一不良、不都合が有りましたら、お買い上げの日より一週間以内、加工を加える前に、株式会社アクティブ又はお買い上げ店までご連絡下さい、交換もしくは修理をさせていただきます。その際に発生する脱着工賃等、商品を使用出来なかった事による損害など商品以外の保証は致しません。取り付け、取扱いの不注意による返品、交換は固くお断り致します。

株式会社アクティブ

〒470-0117 愛知県日進市藤家7丁目55番地
 TEL0561-72-7011(代) FAX0561-72-7012
 ホームページアドレス <http://www.acv.co.jp>
 Eメールアドレス info@acv.co.jp

安全にお使い頂くために必ずお読みください

取り扱い説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の際には、この取り扱い説明書を熟読し、内容を十分にご理解の上で正しい取り付けを行いご使用ください。取り扱い説明書の指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご注意ください。またこの取り扱い説明書は製品を破棄されるまでお手元に保管していただき、第三者に譲渡される場合は必ずこの取り扱い説明書も譲渡者にお渡しください。



記号は警告注意を促す内容であることを告げるものです。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。



記号は行為を強制する内容を告げるものです。



警告

取り扱いを誤ると死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を表示します。

1. エンジン始動中及び停止後しばらくの間、エンジン・マフラー等は高温になっています。必ず冷却時作業を行ってください。（触れると火傷等の負傷を負う恐れがあります）
2. 作業を行う際は、水平な場所で車輛を安定させた安全な状態で作業を行ってください。（作業中オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります）
3. 近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないでください。（火災の原因になります）
4. エンジンを始動させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所ではエンジンを始動させないでください。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります）
5. 各ボルト及びナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを厳守し締め付けてください。（締め付け不良がボルト及びナットの破損や緩みの原因となり部品の脱落等につながる恐れがあります）
6. 法定速度を厳守し安全運転を心がけてください。（転倒による怪我、死亡事故の原因になります）



注意

取り扱いを誤ると傷害又は物的障害が発生する可能性が想定される内容を表示します。

1. 取り付けは技能・知識のある方を対象としております。整備資格のある方又は認定工場で行ってください。（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）
2. 当社指定車種以外への取り付けを行わないでください。（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）
3. お客様による分解や修理・改造は危険ですので行わないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社にご連絡ください。（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）
4. 取り付けの際は軍手・長袖等で身体を保護し、十分注意してください。（怪我をする恐れがあります）
5. 製品取り付け後は走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認した上で走行してください。
6. 取り付けたボルト及びナットは約100km走行後、改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また、500km毎に定期点検を行ってください。
7. 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所で停止して異常箇所の点検を行ってください。

